

大気環境部の業務紹介

山形県の大気環境を守るために
こんなことをやっています！

環境大気常時監視

山形県の大気環境を守るためには、今の大気
の汚れ具合がどうなっているかを知ることが重要です。

そこで、山形県と山形市では県内8市1町に大気
の測定局(11局)と測定データを集中管理するテレ
メータシステムを整備して、二酸化硫黄(SO₂)、
窒素酸化物(NO_x)、光化学オキシダント(O_x)、
PM2.5などを常に測定・監視しています。(山形市
内の測定局は山形市が設置・管理をしています。)

測定した結果は、山形県のホームページでリアル
タイムに見ることが出来ます。

また、最近注目されているPM2.5については、年
に4回、季節ごとに詳しい成分分析を行い、どこか
らやって来たものなのかを調べています。



山形県環境大気
ホームページ



大気の流れ具合を
測定している
測定局です。

PM2.5の詳しい成分を
調べています。



有害大気汚染物質モニタリング調査

私たちは生活を便利にするため、元々、自然の中
にはなかったいろいろな化学物質を作り出し、使っ
てきました。

これらの化学物質の中には、私たちの健康に有害
なものも含まれています。

このため、大気に含まれる有害な化学物質を県内
2地点で毎月1回測定し、監視をしています。

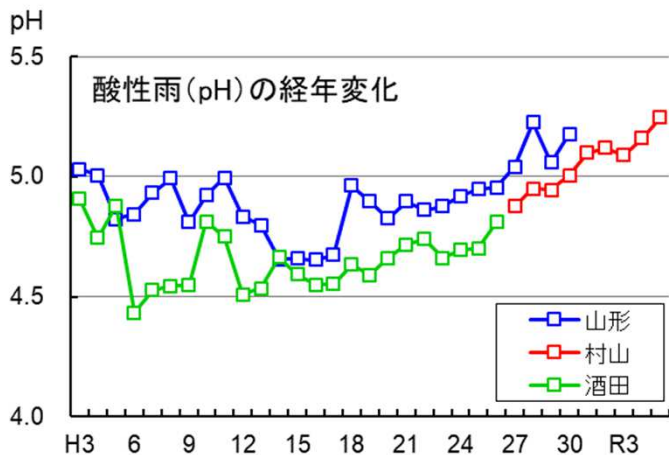


大気に含まれる有害な化学物質を採取する装置です。

酸性雨大気汚染調査

山形県の面積の約7割が森林で占められています。山形県の大切な資源である森林、湖や沼、土、植物などを酸性雨の影響から守るため、雨、雪等の降水を採取して、pHや降水の中に溶け込んでいる成分等を年間を通して測定し、その結果を広く公表しています。

また、全国の地方環境研究所が合同で実施している「酸性雨全国調査」に参加し、酸性雨の原因となる成分の調査を行っています。



ばい煙測定

工場や会社に設置されているボイラーやごみを燃やす廃棄物焼却炉などの煙突から出る煙も大気を汚す原因の一つになっています。

このため、煙突から出る煙に含まれるばいじん、硫酸化物、窒素酸化物、塩化水素の量を測定し、基準を守っているか監視を行っています。



身近な生活環境を守るために
騒音の測定もしています！

騒音調査

航空機の飛行・離着陸で発生する音により、周辺に住む人に健康被害を与えないよう、山形空港周辺の地点で騒音の測定を行い、音の大きさが基準を守っているか調査しています。

山形空港の周辺で騒音の測定をしています。

